ユーザーズ・マニュアル

PL-35STU3

Version: PL-35STU3_QIG-A_V4.1

はじめに

●パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

- ☑ ユーザーズ・マニュアル（本紙）
- □ PL-35STU3（本製品）
- □ HDD取付用ねじ × 3
- □ ゴム足
- □ USB ケーブル
- □ 電源ケーブル
- □ 安全に関するご注意 / 保証書

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

●別途ご用意ください。

□ フォーマット可能な内蔵用 SATA 3.5 インチハードディスク（HDD）

▲ご注意！

- 製品型番「PL-35STU3-2RZ」、「PL-35STU3-2TB」は、あらかじめ2.0TBのハードディスクが内蔵されています。
- 本製品に搭載可能なハードディスク容量は3TBですが、2TB以上のハードディスクを搭載した場合は2つのドライブに分かれます。
  例）3TBの場合は約2TBと約1TBのドライブに分かれます。
- 分かれたドライブ側はLEDが動作しません。

□ プラスドライバー　□ 利用可能なUSB ポートのあるパソコン

困ったときのFAQはWEB上に掲載されています。

詳しくは 「プラネックス　PL-35STU3」 **で** 検索

各部の名称とはたらき

本製品前面

電源ボタン　Power/Access ランプ　使用量ランプ

SuperSpeed USB 3.0 PL-35STU3

Power/Access

100 90 80 70 60 50 40 30 20 10

本製品背面

ランプの動作と状態は次のとおりです。

ランプ	動　作	状　態
Power Access	点灯（青）	電源がオンの状態です。
	点灯（橙）	電源がオンで、パソコンなどの機器と未接続の状態です。
	消灯	電源オフの状態です。
	点滅（青と赤）	HDDへ読み書き中の状態です。
10〜100（使用量）	点灯（緑）	HDDの使用量を表示します。HDDの空き容量が少なくなると、「10」単位刻みで、右側から消灯していきます。
	左右に点滅（緑）	HDDの状態を確認中、またはフォーマット実行中です。（約1〜2分以上点滅時は未フォーマットの状態です） ❗ 一部の外付けUSBハードディスク対応テレビ等でご利用頂くと、使用量が正しく表示されない場合があります。
100（使用量）	点灯（赤）	HDDの空き容量が10%未満になると、「100」ランプが赤く点灯します。

電源をオンにする／オフにする

電源をオンにする

本製品前面の電源ボタンを押します。
「Power/Access」ランプが**青色**で点灯します。

※本製品がうまく認識されていないときは、「Power/Access」ランプが**橙色**で点灯します。

電源をオフにする

「Power/Access」ランプが消灯するまで、
本製品前面の電源ボタンを**長押し**します。

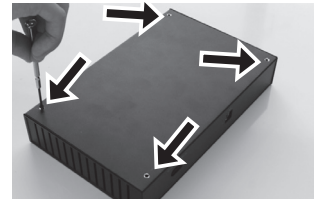
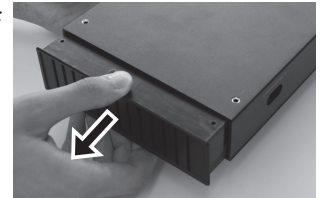
（本製品前面）

電源ボタン

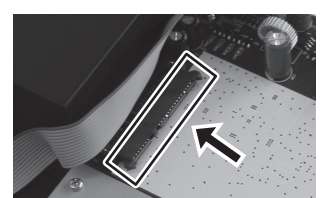
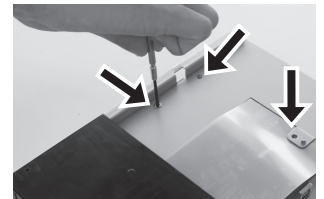
STEP 1 ハードディスクを取り付ける

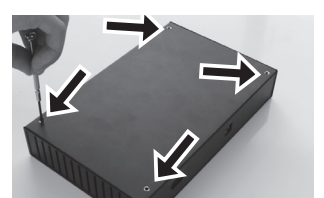
本製品に内蔵用ハードディスク（HDD）を取り付けます。

・本製品の電源はまだ入れないでください。
・ハードディスク内蔵モデルをお使いのときは、ここでの手順は不要です。
「STEP 2 接続する」に進んでください。

1. **本製品をテーブル等の平らなところに置き、底面パネルのねじを外します（4カ所）。**

2. **本製品の胴体部分と側面のパネルを持ち、側面のパネルを引いてトレイを取り出します。**

3. **取り出したトレイのコネクタに、ハードディスクを接続します。**

   ※静電気で本製品およびハードディスクは壊れやすい為、基板や端子部は触れないようにご注意ください。

   ※本製品のコネクタとハードディスクを確実に接続してください。

4. **付属の取付用ねじを使って、トレイにハードディスクをねじ止めします。（3カ所）**

5. **ハードディスクを固定したトレイを、本製品の胴体部分に挿し込みます。**
   ※接続したハードディスクが上向きなるように挿し込んでください。

6. **底面パネルをねじで固定します（4カ所）。**

   以上でハードディスクの取り付けの完了です。

接続する

本製品とパソコンやデジタル家電を接続する手順を説明します。
デジタル家電と接続するときは、「STEP 3」の「デジタル家電などに使用するとき」も合わせて参照してください。

ご注意！

- 本製品をパソコンやデジタル家電に接続するときは、必ず本項の手順で接続してください。異なる手順で接続すると、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。
- 本製品は、電源をオンにする前に安定した場所に設置してください。電源がオンのときに振動を与えたり移動させたりすると、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。
- 本製品は、パソコン本体に標準装備された USB ポートに接続してください。

① **付属のUSBケーブルを、本製品背面のUSBコネクタに接続します。**

② **付属の電源ケーブルを、本製品背面の電源コネクタに接続します。**

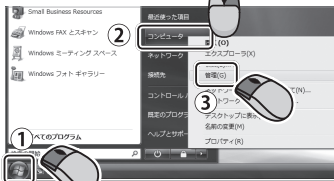
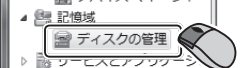
③ **付属のUSBコネクタの反対側を、パソコンやデジタル家電のUSBポートに接続します。**

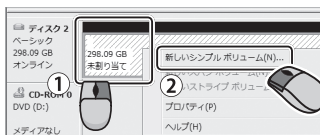
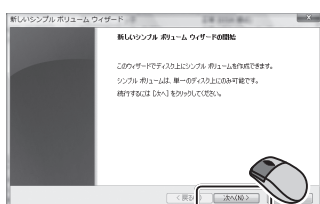
④ **付属の電源ケーブルをコンセントに挿し込みます。**

⑤ **本製品前面の電源ボタンを押します。**
本製品の「Power/Access」ランプが青色で点灯し、本製品の電源がオンになります。
パソコンに接続したときは、本製品が認証され、OS標準のドライバがインストールされます。

以上で接続の完了です。

- **●本製品前面の「使用量」ランプが緑色で左右に点滅後、緑色（または赤色）で点灯したときは、そのままご使用いただけます。**
- **●約1〜2分経っても、本製品前面の「使用量」ランプが緑色で左右に点滅しているときは、「STEP 3」を参照し、ハードディスクをフォーマットしてください。**

STEP 3 ハードディスクをフォーマットする

ハードディスクは、お使いのパソコンで読み書きができるように「フォーマット」という初期化作業をする必要があります。**フォーマットされていないハードディスクを本製品に取り付けているときは、フォーマット作業をしてください。**
フォーマットの方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。お使いのOSをご確認の上、各OSでの手順を参照してフォーマットを行ってください。
本項では参考として各OSごとの手順例を説明します。

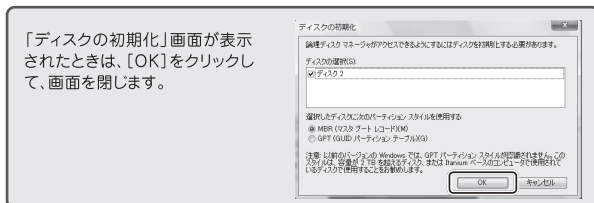
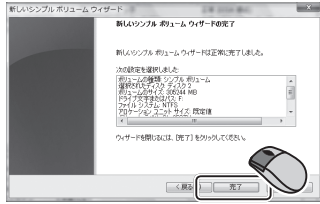
ご注意！

- フォーマットを行うと、ハードディスク内のすべてのデータが消去されます。フォーマットを行うハードディスクを選ぶときは、よく確認してください。
  またフォーマットを行うときは、本製品以外の外付けハードディスクやUSBメモリ、メモリーカード等を、パソコンから取り外しておくことをお勧めします。
- ハードディスクのフォーマットには数分〜数10分かかることがあります。その間は本製品およびお使いのパソコンの電源を切ったり、USBケーブルや電源ケーブルを抜く等は絶対にしないでください。

Windows 7/Vistaのとき

ハードディスク全体を1つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。Windows Vistaの画像を例に説明していますが、Windows 7でも手順は同じです。

① ［**スタート**］をクリックします。
② 「**コンピュータ**」を右クリックします。
③ 「**管理**」をクリックします。

② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［**続行**］をクリックします。
※Windows 7をお使いのときは、次の手順に進んでください。

③ 「コンピュータの管理」画面より、「記憶域」の下の「**ディスクの管理**」をクリックします。

「ディスクの初期化」画面が表示されたときは、［OK］をクリックして、画面を閉じます。

④ ① 本製品に取り付けたハードディスク（「未割り当て」と表示されています）を**右クリック**します。
② 「**新しいシンプルボリューム**」をクリックします。

⑤ 「新しいシンプルボリュームウィザード」が表示されます。
［**次へ**］をクリックします。

⑥ 作成するパーティションのサイズ（容量）を指定して、［**次へ**］をクリックします。
※ここでは、最大ディスク容量のサイズを指定しています。

⑦ 右記の画面が表示されます。
通常はそのまま［**次へ**］をクリックします。
※ドライブ文字を指定するときは、プルダウンメニューより指定してください。

⑧ 右記の画面が表示されます。
「**アロケーションユニットサイズ**」を「**64K**」に指定して、［**次へ**］をクリックします。
※「ボリュームラベル」は必要に応じて設定してください。

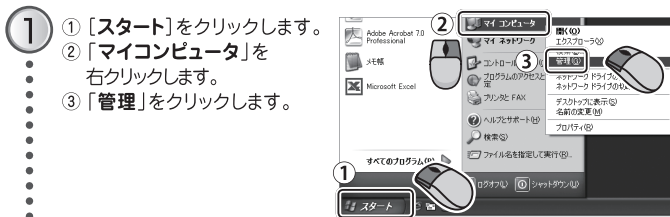
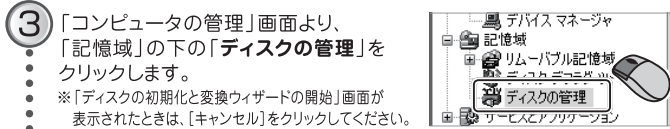
⑨ ［**完了**］をクリックします。
▼
ウィザード画面が閉じ、フォーマットが開始されます。

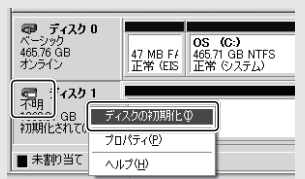
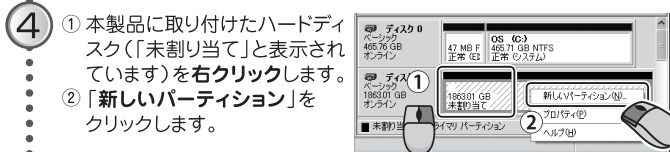
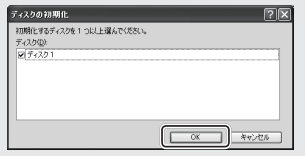
⑩ ディスクの状態が、「**フォーマット中**」から「**正常**」に変わります。
▼
フォーマットが完了しました。画面を閉じます。

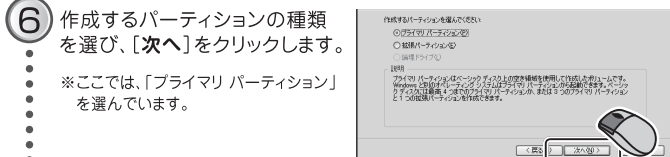
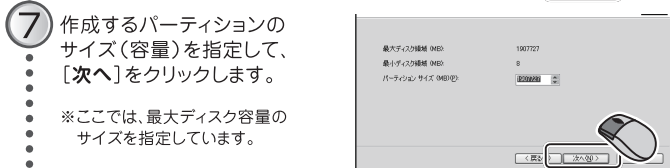
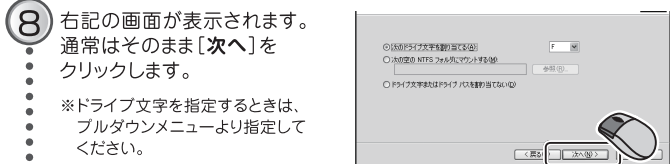
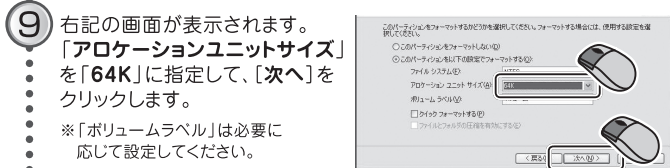
以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

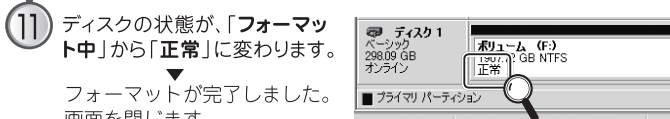
Windows XPのとき

ハードディスク全体を1つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。

1 ①［**スタート**］をクリックします。
②「**マイコンピュータ**」を右クリックします。
③「**管理**」をクリックします。

2 「コンピュータの管理」画面が表示されます。

3 「コンピュータの管理」画面より、「記憶域」の下の「**ディスクの管理**」をクリックします。
※「ディスクの初期化と変換ウィザードの開始」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックしてください。

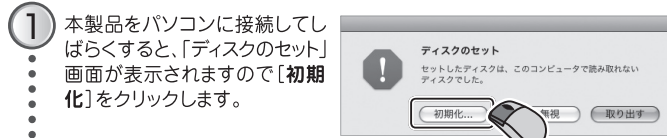
1. 新しいハードディスク（未フォーマットのハードディスク）が接続されていると、右図のように「**不明**」と表示されます。そのときは、「**不明**」と書かれた部分を右クリックして、「**ディスクの初期化**」をクリックします。
2. 「ディスクの初期化」画面が表示されるので、［**OK**］をクリックします。

4 ① 本製品に取り付けたハードディスク（「未割り当て」と表示されています）を**右クリック**します。
②「**新しいパーティション**」をクリックします。

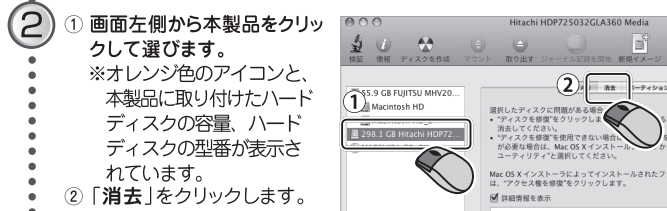
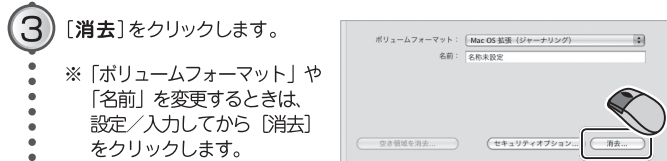
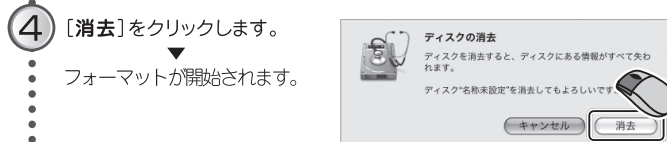
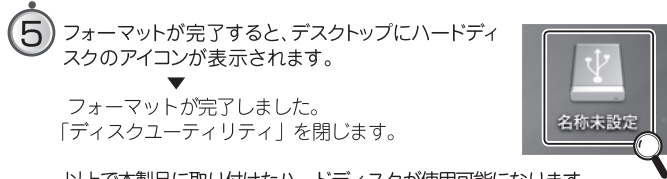
5 「新しいシンプルボリュームウィザード」が表示されます。［**次へ**］をクリックします。

6 作成するパーティションの種類を選び、［**次へ**］をクリックします。
※ここでは、「プライマリ パーティション」を選んでいます。

7 作成するパーティションのサイズ（容量）を指定して、［**次へ**］をクリックします。
※ここでは、最大ディスク容量のサイズを指定しています。

8 右記の画面が表示されます。通常はそのまま［**次へ**］をクリックします。
※ドライブ文字を指定するときは、プルダウンメニューより指定してください。

9 右記の画面が表示されます。「**アロケーションユニットサイズ**」を「**64K**」に指定して、［**次へ**］をクリックします。
※「ボリュームラベル」は必要に応じて設定してください。

10 ［**完了**］をクリックします。
▼
ウィザード画面が閉じ、フォーマットが開始されます。

11 ディスクの状態が、「**フォーマット中**」から「**正常**」に変わります。
▼
フォーマットが完了しました。画面を閉じます。

以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

Mac OS Xのとき

ハードディスク全体を1つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。Mac OS X 10.5の画面を例に説明していますが、Mac OS X 10.6/10.4でも手順は同じです。

1 本製品をパソコンに接続してしばらくすると、「ディスクのセット」画面が表示されますので［**初期化**］をクリックします。

※上記の画面が表示されないときは、デスクトップの状態（Finder）で、メニューバーの「移動」→「ユーティリティ」の順にクリックして、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックします。

2 ① **画面左側から本製品をクリックして選びます。**
※オレンジ色のアイコンと、本製品に取り付けたハードディスクの容量、ハードディスクの型番が表示されています。
②「**消去**」をクリックします。

3 ［**消去**］をクリックします。
※「ボリュームフォーマット」や「名前」を変更するときは、設定／入力してから［消去］をクリックします。

4 ［**消去**］をクリックします。
▼
フォーマットが開始されます。

5 フォーマットが完了すると、デスクトップにハードディスクのアイコンが表示されます。
▼
フォーマットが完了しました。
「ディスクユーティリティ」を閉じます。

以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

Mac OS X 10.5では、ハードディスクのフォーマットが完了したときに「Time Machineでバックアップを作成するために使用しますか？」画面が表示されることがあります。この画面から設定することで、本製品をTime Machine機能で使用することができます。詳しくは、Mac OS X 10.5のヘルプを参照してください。

デジタル家電などに使用するとき

⚠ご注意！

- torne(PS3用)で本製品を使用するときは、各機器でハードディスクを初期化するか、パソコンにてFAT32形式にフォーマットする必要があります。パソコンでハードディスクのフォーマットを行うときは、以下の手順を参照してください。
- torne(PS3用)で本製品を使用するときは、地上デジタル放送が見られる環境を先に準備してください。
- 初期化やフォーマットを実行すると、ハードディスク内の全てのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 下記のURLへ接続し、フォーマットソフトをダウンロードします。
http://www.planex.co.jp/support/download/drive/pl-35stu3.shtml

2 Web上のマニュアルを参照し、フォーマットソフトのインストールと、ハードディスクのフォーマットを行います。

3 「STEP 2」を参考に、本製品とデジタル家電を接続します。

4 デジタル家電に本製品を登録します。
※登録方法や使用方法などの詳細は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

本製品を取り外す

本製品をパソコンから取り外したり、電源を切ったりするときの手順を説明します。
※本製品をデジタル家電から取り外すときは、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

・**パソコンの電源をオフにしてから行うとき**
そのまま取り外したり、電源を切ることができます。

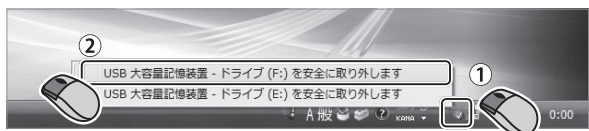
・**パソコンの電源をオンにしたままで行うとき**
取り外し操作が必要です。操作の手順は、お使いのパソコンのOSによって異なります。以下では各OSごとの手順を説明します。

⚠ご注意！

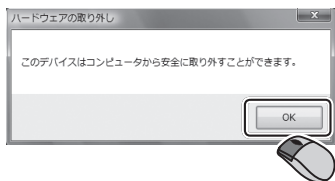
・パソコンの電源をオンにしたまま本製品を取り外すときは、必ず本項の手順で取り外してください。異なる手順で取り外すと、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。

Windows 7/Vista/XPのとき

Windows Vistaの画面を例に説明していますが、Windows 7/XPでも手順は同じです。

① タスクトレイの「**ハードウェアの安全な取り外し**」アイコンをクリックします。
② 「**USB大容量記憶装置 - ドライブ(?:)を安全に取り外します**」をクリックします。

※「?」にはドライブ文字(ドライブレター)が表示されます。お使いのパソコンの環境によって異なります。

［**OK**］をクリックします。

※ご使用の環境により、右記の画面が表示するまで時間がかかることがあります。

③ 本製品前面の電源ボタンを**長押し**して電源を**オフ**にします。

④ USBケーブルを取り外します。

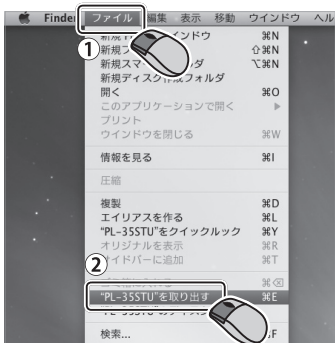
以上で本製品の取り外しは完了です。

Mac OS Xのとき

Mac OS X 10.5の画面を例に説明していますが、Mac OS X 10.6/10.4でも手順は同じです。

デスクトップに表示されている本製品のアイコンをクリックして選択します。

① メニューバーの「**ファイル**」をクリックします。
② 「**"??????"を取り出す**」をクリックします。
※「??????」にはディスク名が表示されます。

▼

デスクトップから本製品のアイコン表示が消えます。
※ご使用の環境により、本製品のアイコンが消えるまで時間がかかることがあります。

③ 本製品前面の電源ボタンを**長押し**して電源を**オフ**にします。

④ USBケーブルを取り外します。

以上で本製品の取り外しは完了です。

困ったときは

Q1. 本製品がパソコンに認識されない

本製品がパソコンに認識されないときは、次の点を確認してください。

■電源ケーブルを接続していますか?
本製品は、USBポートからの電源供給では動作しません。付属の電源ケーブルを接続してください。

■USBハブに接続していませんか?
本製品は、USBハブを介して接続したときの動作は保証しておりません。
パソコンに標準装備されているUSBポートに接続してください。

■USBケーブルは確実に接続されていますか?
USBケーブルのコネクタが、本製品とパソコンのUSBポートの奥まで確実に接続されているか確認してください。

■ハードディスクは確実に接続されていますか?
本製品とハードディスクのコネクタが、奥まで確実に接続されているか確認してください。

■パソコンがスリープモードになっていましたか?
パソコンがスリープモードになると、本製品もスリープモードになります。パソコンがスリープモードから復帰後、本製品が認識されないときは、本製品を再起動してください。

Q2. ハードディスクが表示されない

「コンピュータ」(Windows 7/Vista)、「マイコンピュータ」(Windows XP)、デスクトップ(Mac OS X)にハードディスクが表示されないときは、次の点を確認してください。

■本製品はパソコンに認識されていますか?
本製品がパソコンに認識されていないときは、Q1を参照してください。

■ハードディスクはフォーマットされていますか?
フォーマットされていないハードディスクは使用することができません。フォーマットを行う手順は、P2.「STEP 3 ハードディスクをフォーマットする」を参照してください。

Q3. P3「本製品を取り外す」の手順でエラーが表示される

本製品をパソコンから取り外そうとしたとき、エラーが表示されたときは次の点を確認してください。

■ウィルス対策ソフト等が動作していませんか?
ハードディスクを常時監視するウィルス対策ソフト等が動作しているときは、取り外しが行えないことがあります。ソフトの動作対象からハードディスクを外すか、ソフトを一時的に停止してから取り外しを行ってください。

■ハードディスクの内容が表示されていませんか?
ハードディスク内のファイル一覧や、Windowsの「ディスクの管理」画面等が表示されていると、取り外しが行えないことがあります。画面やファイルを閉じてから取り外し操作を行ってください。

■ハードディスクに読み書きしていたり、ハードディスク内のファイルを開いていませんか?
パソコンとハードディスク間でファイルをコピーしていたり、ハードディスクに保存されたファイルを開いていると、取り外しが行えないことがあります。
ファイルをコピーしているときは、コピーが完了してから取り外し操作を行ってください。
ファイルを開いているときは、ファイルを閉じるかファイルを開いていたソフトを終了してから取り外し操作を行ってください。

仕様

型番	PL-35STU3
機能	
対応規格	USB 3.0/2.0/1.1
伝送速度	USB 3.0: 5Gbps / USB 2.0: 480Mbps / USB 1.1: 12Mbps
ハードウェア仕様	
搭載可能ハードディスクドライブ	3.5インチ SATA HDD×1台
インターフェース	I/F側 USB 3.0ポート×1 (タイプBコネクタ)
	HDD側 SATAⅡ×1
LED	高輝度(緑色)×9個, 高輝度(赤色)×1個,高輝度(赤青色)×1個
外形寸法	約 240(W)×41(H)×153(D)mm
重量	約 808g(本体のみ)
動作時環境	温度:0～40℃
	湿度:5～90%(結露なきこと)
保存時環境	温度:-20～60℃
	湿度:5～95%(結露なきこと)
その他	
電源	入力:AC100V-240V、50/60Hz
	出力:DC12V 2A
対応機種	USB3.0/2.0/1.1を搭載したPC/AT互換機およびMacintosh
対応OS	Windows 7(32/64bit)/Vista(32/64bit)/XP
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4(CPU:Intel/PowerPC対応)
保証期間	1年間

■注意事項
※本製品にハードディスクドライブは含まれておりません。
※表示の数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

●ご注意：ご使用の際は商品に添付されたマニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。

DA120302_PL-35STU3_QIG-A